「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 Vol.3 令和5年9月5日

8月23日(水)の午後、2年の医療専攻者12名で、「魚沼の最先端医療にふれる」というテーマで、魚沼基幹病院の役割と、そこで働く医療スタッフの仕事を知る目的で魚沼基幹病院に行ってきました。

鈴木榮一病院長のお話の後、看護師の方、臨床検査技師の方等、専門職の方から各分野の説明を受けました。その後、病院の様々な施設を見学させていただきました。
日常業務で大変お忙しい中、将来、地域の医療を支える若者を大事に育てていこうというスタッフの方々の暖かい気持ちが感じられた研修となりました。

【講義1】「魚沼基幹病院における救命救急センターの機能と役割」について

○魚沼医療圏について
新潟県は、比較的専門性が高い保健医療活動が完結出来る医療圏として、全県を下越、新潟、県央、中越、魚沼、上越、佐渡の7つの区域に分けている。

○魚沼基幹病院の機能と役割
魚沼医療圏の中核として、高度先進医療、救急医療、災害医療を担う。
魚沼基幹病院を中心に、機能分担により、地域完結型医療の実現を行う。

○救命救急センターの日常
多職種からなるチームで、毎朝、話し合うことにより、患者さんが必要とする医療をタイムリーかつ効果的に提供することを目指している。
患者と家族を支えること、患者さんの日常を整えることを大切にしている。

【講義2】新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院　検査科紹介

・国際規格 ISO15189 の認定施設で国際的基準で臨床検査を実施できる施設。
全国で273施設、県内には8施設、その中の一つ。
・県内の医療施設では、一番最初にPCR検査の運用をスタート(2020.4.8)させた。
・臨床検査技師27名、看護師2名が在籍。
・平日、休祝日はもちろん、365日24時間の検査体制。
まれな病原体検査への対応もできる。
・365日24時間、輸血(緊急を含む)に対応する体制
・脳死判定のため、臨床検査技師が脳波検査を実施。
・病理医と共に解剖に立会うことも。(術中迅速病理診断)
・臨床検査技師は、検査室にこもって、検査しているわけではない。

【講義3】リハビリテーション技術科部門の紹介

・理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が在籍
・魚沼基幹病院の特徴
①魚沼地域の一刻を争う重篤な救急患者に対応
→超早期からのリハビリテーションを実施
②魚沼医療圏唯一の心大血管疾患リハビリ(心臓のリハビリ実施施設)
②様々な評価機器、訓練機器を備え、新潟大学地域医療教育センターと連携し、学術活動も積極的に実施
リハビリテーション医療の発展に貢献

【生徒の感想】

・基幹病院のすごさがわかった。心臓、呼吸のリハビリもできることに驚いた。病院内にはいろいろな職種の人たちがはたらいていることがわかった。
・基幹病院の普段行くことができないとことまで見学できて、良い体験ができました。
・臨検やリハビリなど、説明を受けたことのない分野についてもどんな仕事なのか、何をしているとことなのか今回知ることができて、とても勉強になりました。いろいろなところを近くから見学できて、とても良かったです。
・専門的なことから基幹病院のことを知ることができてよかったです。
・災害現場では助けられる命を優先して治療にあたるので、全員が助かるといった可能性は高くないんだなと実感しました。
・看護師さんも日々医療は進歩しているから毎日学ぶことが多くて大変とおっしゃっていました。いろいろな科を見学させてもらい、どの科もとても忙しく大変そうでしたが、とても楽しそうにも見えました。

【見学内容】

病棟です。この病棟には入院患者は居ません。看護師の方が練習するための病棟で、練習用の人形がありました。

放射線治療を行います。他にX線やNMRなど高額な機器があります。

リハビリテーション室にて。

検査室です。たくさんの検体が機械で測定されています。

屋上のヘリポートで記念撮影。